

## 科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成 25 年 5 月 15 日現在

機関番号：13101

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2010 ～ 2012

課題番号：22520659

研究課題名（和文） 経典目録よりみた古代国家の宗教編成策に関する多面的研究

研究課題名（英文） Many-sided research on the religion organization measure of an ancient state in which it saw from the Buddhist scripture list

研究代表者

中林 隆之（NAKABAYASHI TAKAYUKI）

新潟大学・人文社会・教育科学系・准教授

研究者番号：30382021

研究成果の概要（和文）：8 - 10 世紀の経典目録群を類別・整理し、データベースを作成した。それをふまえ古代国家の仏教を軸とした宗教編成策を教学面・組織面より検討した。その結果、当該期に東アジア諸国から将来された知的財産たる経典群の管理方法と書写・流布の特徴を概括的に示すことができた。そのうえで 8 世紀の南都六宗から 10 世紀初頭の諸宗への推移を詳細に解明した。なお目録群のデータは WEB 上に限定公開した。

研究成果の概要（英文）：

The Buddhist scripture list group in the 8 - 10th century was classified and arranged, and the database was created. It was based on it and worked on the religion organization measure centering on the Buddhism of an ancient state from the education side and the organization side. As a result, the feature of the management method of an intellectual property barrel Buddhist scripture group, and the copy and spread which were made into the term concerned from the countries in East Asia in the future was able to be shown generally. Transition to SHU(宗) in the early 10th century in the 8th century from NANTO-ROKU-SYU (南都六宗) was solved in detail on it. In addition, the data of the list group carried out limited public presentation on WEB.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2010 年度	1800,000	540,000	2340,000
2011 年度	700,000	210,000	910,000
2012 年度	600,000	180,000	780,000
年度			
年度			
総計	3100,000	930,000	4030,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：史学・日本史

キーワード：古代史，経典目録，正倉院文書，データベース，章疏，漢籍，デジタルアーカイブ

## 1. 研究開始当初の背景

古代から中世にいたる時期に作成された経典目録群は、大陸・半島などからの将来経典目録、写経事業の底本を揃えるための目録類、内裏・官司・官大寺・僧・貴族らの蔵書目録

や資財帳、さらに南都六宗など「宗」の教学編成に関わる目録（帳簿）など様々な性格のものがある。これらの目録群は、諸典籍の東アジアからの受容と国内配置の大枠的な特徴の把握を可能にさせ、古代から中世成立期

にいたる仏教をはじめとした諸宗教の特徴をさぐるうえで格好の史料群である。

そこで本研究では主に8世紀から10世紀初頭ごろに作成された目録群を一括して活用し、データベースを作成する。また目録群を分析することにより古代の諸典籍の将来状況や国内での管理・流通のあり方を復原し、また古代国家の諸宗教編成策の特徴をその変遷を解明することとした。

## 2. 研究の目的

8-10世紀初頭の經典目録群の分類・整理により、古代における外来典籍の管理のありかたを把握する。それをふまえ、仏教やそれ以外の宗教・学術の国家・王権による編成策とその推移の大枠を捉える。とりわけ、仏教については、8世紀の南都六宗の「布施勘定帳」と10世紀初めの「五宗録」「安然録」などを比較することで、宗の性格や国家的教学編成策の推移を詳細に解明する。

## 3. 研究の方法

基礎的作業として8-10世紀初頭の經典目録群を分類・整理し、データベースを作成し、それをWEB上に公開する。それをもとに目録群を分析し、当該期の經典をはじめとした諸典籍の流布やその管理のありかたを把握する。

さらに諸目録群の内容の精査と比較から、8世紀から10世紀にいたる古代国家の諸宗教政策の推移を明らかにする。

## 4. 研究成果

### (1)2010年度

研究代表者は、正倉院文書の分析・帳簿の復原整理のため、原本を影写したフィルムを読み込むために不可欠なデジタルマイクロリーダーを購入し、それをふまえて經典目録群のデータベース作成を開始した。連携研究者の後藤真(花園大学文学部講師)と、データのSOMODA(正倉院文書データベース)を通じてのWEB上への公開へむけて、準備の打ち合わせを行った。研究代表者は、学会報告を1回行い、論文を2本発表した。

### (2)2011年度

經典目録のデータ入力・公開に関して、既存のSOMODAのデータベースとしての諸々の技術的困難に直面した。そこで当該年度より後藤真を、WEB公開を主導する研究分担者に変更し、より効率的なデジタル化と公開へ向けたシステム(正倉院文書トピックマップ)の構築を図った。研究代表者は、正倉院文書を中心とした目録のデータ入力を行った。

また研究代表者は、歴史学研究会大会古代史部会での口頭報告および3回の準備報告を行った。さらに研究論文も3本公表した。

### (3)2012年度

仏典以外の諸典籍の流布状況を精密に把握するため、新たに遠藤慶太(皇學館大学史

料編纂所准教授)を研究分担者とし研究体制を拡充した。総括的な打ち合わせと研究会を2回実施し(5月19日:大阪市立大学文学部棟、10月20-21日:新潟大学駅南キャンパスときめいと)研究成果報告書の作成とデータのWEBへの公開へ向けた調整と研究報告を行った。研究代表者は、関連する講演を2回、研究会での口頭報告を3回行った。また編著書1部(本研究の研究成果報告書)と、論文3本(うち、本研究の研究成果報告書に2本所収)を公表した。研究分担者のうち、後藤真は、研究報告を1回行い、編著書2部、論文2本(うち本研究の研究成果報告書に1本所収)を発表した。遠藤慶太は、研究報告を1回行い、単著1部、論文1本(本研究の研究成果報告書に所収)を公表した。

2013年3月末に研究成果報告書を150部作成し、広く学会に配布することで、8-10世紀初頭の經典目録群の検討から当該期の国家的宗教編成策の大枠を解明しその成果を公表するという当初の目的が、おおむね達成された。またデータのWEB上への公開も試行的・限定的ではあるが、成し遂げることができた。

ただし、經典目録群の整理とそのデジタルデータの公開作業は、まだ途上である。また本研究の成果を踏まえると、古代から中世初頭の知識・思想的リソースとその系譜・国際的環境の大枠的把握と、その内容の学会での共有のために、当該期の史料にみえる目録・書籍群の悉皆的調査とそのデジタルアーカイブ化の必要性が、今後の新たなる課題として浮かび上がってきた。

## 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計 14件)

1. 中林隆之、「寺院・僧侶の仏典と古代国家」, 4-18頁、『經典目録よりみた古代国家の宗教編成策の多面的研究』(本研究の研究成果報告書) 査読無し、2013年3月

2. 中林隆之、「南都六宗から平安諸宗へ - 「五宗録」からみた平安前期の王権・国家と仏教」, 19-42頁、『經典目録よりみた古代国家の宗教編成策の多面的研究』(本研究の研究成果報告書) 査読無し、2013年3月

3. 遠藤慶太、「資財としての書物 - 写経所の漢籍から - 」, 43-59頁、『經典目録よりみた古代国家の宗教編成策の多面的研究』(本研究の研究成果報告書) 査読無し、2013年3月

4. 後藤真、「正倉院文書を中心とする歴史的經典知識の応用の可能性 - 正倉院文書トピックマップを題材に - 」, 60-71頁、『經典目録よりみた古代国家の宗教編成策の多面

の研究』(本研究の研究成果報告書) 査読無し、2013年3月

5. 中林隆之、「古代佐渡国と北東アジア - 渤海の来航と佐渡国分寺 - 」、13-27頁、『平成24年度越後国域確定1300年記念事業記録集』新潟県教育委員会、査読無し、2013年3月

6. 後藤真、「博物館資料情報のLinkedOpenData化へ向けたモデル試作 - 花園大学歴史博物館資料を題材に - 」、1-6頁、『情報処理学会研究報告 人文科学とコンピュータ研究会報告』97、1-6頁、査読無し、2013年1月

7. 遠藤慶太、「『経国集』対策の新羅観 - 天平宝字元年紀真像対策より - 」、1-7頁、『皇學館大学史料編纂所報 史料』236、査読無し、2012年12月

8. 後藤真・内藤求、「正倉院文書データベースへのトピックマップ応用による奈良時代知識情報構築の試み」、『人文科学とコンピュータシンポジウム論文集2012』、125-132頁、査読有り、2012年11月

9. 後藤真、「HuTime/Mapの日本史研究への応用の試み - 続日本紀を題材に - 」、15-20頁、『HuTime/Mapを使った研究事例と将来展望報告書』、査読無し、2012年3月

10. 中林隆之、「東アジア<政治 - 宗教>世界と日本古代国家」、26-35頁、査読無し(依頼)、『歴史学研究(増刊号)』885、2011年10月

11. 中林隆之、「古代日本の境界認識と文字資料」、69-80頁、査読無し(依頼)、『古代・中世の教会認識と文化交流』勉誠出版、2011年5月

12. 中林隆之、「古代君主制の特質と東アジア」、31-45頁、査読有り、『歴史科学』205、2011年5月

13. 中林隆之、「石作氏の配置とその前提」、1-17頁、『日本歴史』751、査読無し(依頼) 2010年12月

14. 中林隆之、「日本古代の寺院資財管理と檀越」、249-266頁、『日本古代の王権と社会』塙書房、査読無し、2010年10月

〔学会発表〕(計 12件)

1. 中林隆之、「仏教公伝とその前提」、古代地域史研究会(科学研究費補助金基盤研究(C)研究会、研究代表:古市晃・坂江渉) 2013年3月16日、たつの市埋蔵文化財センター

2. 中林隆之、「仏教の受容と古代社会 - 河内古代寺院の史的意義」、柏原市歴史資料館市民歴史大学講演、2013年2月9日、柏原市歴史資料館

3. 中林隆之、「古代国家と法会・教学編成 - 「五宗録」の検討 - 」、科学研究費補助金基盤研究(C)(本研究)の研究会、2012年10月21日、新潟大学駅南キャンパスときめいと

4. 後藤真、「正倉院文書データベース(SOMODA)を応用した経典目録分析の試み」、科学研究費補助金基盤研究(C)(本研究)の研究会、2012年10月21日、新潟大学駅南キャンパスときめいと

5. 遠藤慶太、「写経所の漢籍 - 資財としての書物 - 」、科学研究費補助金基盤研究(C)(本研究)の研究会、2012年10月21日、新潟大学駅南キャンパスときめいと

6. 後藤真、Description for Restoring Process of "Shoso-in Monjo" using the Shoso-in Monjo Database(SOMODA)、2012年9月17日、東京大学

7. 中林隆之、「古代佐渡国と北東アジア」、越後国域確定1300年記念事業リレー講演会第1回講演、2012年6月2日、佐渡市トキのむら元気館

8. 中林隆之、「寺の経典・僧の経典」、科学研究費補助金基盤研究(C)(本研究)の研究会、2012年5月19日、大阪市立大学文学部研究棟

9. 中林隆之、「東アジア<政治 - 宗教>世界と日本古代国家」、歴史学研究会大会古代史部会報告、2011年5月22日、青山学院大学(他、準備報告会3回)

〔図書〕(計4件)

1. 中林隆之(編著)、『経典目録よりみた古代国家の宗教編成策の多面的研究』(本研究の研究成果報告書) 2013年3月、112頁

2. 遠藤慶太(単著)、『東アジアの日本書紀歴史書の誕生』吉川弘文館、2012年7月、208頁

3. 緒形直人・後藤真(編著)、『写真経験の社会史』岩田書院、2012年6月、304頁

4. 宮川渉・岸本直文・山田邦和・後藤真・茂木雅弘・高木博志・谷口榮・今尾文昭・大久保徹也・福島幸宏(共著)、『「陵墓」を考える』新泉社、2012年5月、320頁(後藤真86-105頁)

〔産業財産権〕

出願状況(計 件)

名称:  
発明者:  
権利者:  
種類:  
番号:  
出願年月日:  
国内外の別:

取得状況(計 件)

名称:  
発明者:  
権利者:

種類：  
番号：  
取得年月日：  
国内外の別：

〔その他〕

ホームページ等

後藤真が管理

(1)正倉院文書データベース

[http://somoda.media.osaka-cu.ac.jp/  
index.php](http://somoda.media.osaka-cu.ac.jp/index.php)（公開中）

(2)正倉院文書トピックマップ

（閲覧にはパスワード申請を要する）

<http://somoda.jp/somoda4>

6．研究組織

(1)研究代表者

中林 隆之 (NAKABAYASHI TAKAYUKI)

新潟大学・人文社会・教育科学系・准教授

研究者番号：30382021

(2)研究分担者

後藤 真 (GOTO MAKOTO) (2011・2012年度)

花園大学・文学部・講師

研究者番号：90507138

遠藤 慶太 (ENDO KEITA) (2012年度)

皇學館大学・史料編纂所・准教授

研究者番号：90410927

(3)連携研究者

後藤 真 (GOTO MAKOTO) (2010年度)

花園大学・文学部・講師

研究者番号：90507138